
私の願い

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の願い

【コード】

N0459N

【作者名】

桜実保乃佳

【あらすじ】

北海道は今日七夕なので書かせていただきました！！
ほんわり友情あり片思いありです！
コ哀です！

今日は夏休みで暑いから
探偵団と博士、勿論江戸川君と一緒に北海道に来ている
東京は暑いからまだ、涼しいわ
泊っているホテルで

七夕フェスティバル

というのがやっていたので吉田さんと一緒に見ていた
そこではどこかの学校のブラバンが演奏していたり、屋台的なもの
が出たりと賑わっていた

そしてとうとう終幕のとき

「皆さん！

あの笹をご覧下さい！

大きいですね！

あそこに短冊とペンをご用意されています！！

願い事などは大きい笹に書いて

皆で願いをかなえましょう！！」

と司会者が喋り終幕…

部屋に戻ろうとしたとき

「哀ちゃん！！

皆もお願い事書こう！！」

吉田さんが私の腕を引つ張って短冊コーナーに…
勿論、江戸川君も
最初は断っていたけど
円谷君や小嶋君に睨まれてしびしび…

「どんなお願い事がいいかな？」
あ！！！」

吉田さんは考え付いたらしく
スラスラと願い事を書いていく

「出来た！！」
歩美は哀ちゃんと一緒に入れますように！！」

…嬉しい…

ちょうどそのとき

円谷君や小嶋君も書き終えたみたいで短冊に願い事を書いて笹につ
るしていた
書いてないのは私と江戸川君だけ…

どうしよう…

そっだ…

江戸川君も考え付いたらしく同時に書き始めた

そして部屋に戻った…

私の書いた願い…

それは…

ずっと江戸川君の傍に入れますように…

(後書き)

駄目だし、感想・駄目だし等
待ってます！

平成22年8/7 Happy & Lucky

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0459n/>

私の願い

2010年10月9日06時03分発行